

広島県におけるカラアカハラの営巣初確認

山本 和彦¹・上野 吉雄^{2*}

¹ 広日本野鳥の会広島県支部・² 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会

First Breeding Record on Grey-backed Thrush *Turdus hortulorum* in Hiroshima Prefecture

Kazuhiko YAMAMOTO and Yoshio UENO*

報告

カラアカハラ *Turdus hortulorum* は、シベリア南部、アムール川流域、ウスリー川流域、中国北東部、朝鮮半島などで繁殖し、中国東北部、朝鮮半島などで繁殖し、中国南東部、インドシナ半島、希に日本や台湾で越冬する（日本鳥学会 2012）。国内では、西中国山地で繁殖が確認されている（小海途ほか 2018）。

これまで、広島県北広島町では、繁殖期である 2012 年 5 月に掛頭山で、2013 年 7 月に臥竜山で確認されている（上野ほか 2014）。また、2020 年に臥竜山麓八幡原公園においてオス幼鳥とメス幼鳥が鳥類標識調査で確認されている（上野ほか 2021）。

今回、カラアカハラの営巣を県内で初めて確認したので報告する。報告に際し、植物を同定していただいた齋藤隆登氏に感謝する。

カラアカハラの営巣を確認したのは、広島県北広島町の掛頭山麓（34°43'N 132°12'E、標高 872 m）で、高木層としては、ホオノキ *Magnolia obovate*、ウリハダカエデ *Acer rufinerve*、ハウチワカエデ *Acer japonicum*、ミズナラ *Quercus mongolica* var. *grosseserrata* などが見られ、低木層としては、ミヤマガマズミ *Viburnum wrightii*、コアジサイ *Hydrangea hirta* などが、林床にはイヌトクガワザサ *Sasa scytophylla* が見られる。鳥類相としては、アカショウビン *Halcyon coromanda*、クロツグミ *Turdus cardis* などが繁殖している（図版 1-A）。

2023 年 5 月 28 日 9:30 に掛頭山麓でカラアカハラの巣を発見し、ビデオ撮影した（図版 1-B）。巣はクリ *Castanea crenata* の地上約 4 m の枝の基部に置かれており（図版 1-B）、メスが巣に取り付き（図版 1-C）、抱卵も確認できた（図版 1-D）。また、オスが巣に近づいたカケス *Garrulus glandaris* を追い払う行動も確認した。1 週間後に確認すると、親鳥の姿も見えず、何者かに捕食されたようである。

引用文献

小海途 銀次郎・和田 貞次・奥野 一男（2018）日本におけるカラアカハラの完成した巣と卵の初確認記録。Strix, 34：105 – 109.

日本鳥学会（2012）日本鳥類目録 改訂第 7 版。日本鳥学会，三田

上野 吉雄・保井 浩・小柴 正記・藤原 俊二・若本 啓二・沖田 武・森口 龍人（2014）北広島町の鳥類。北広島町の自然，636，672。北広島町教育委員会。北広島

上野 吉雄・伊東 進也・原 達也・石井 秀雄・前田 要（2021）広島県臥竜山麓におけるカラアカハラの繁殖確認。高原の自然史，21：1-2



A : カラアカハラの営巣環境 2023 年 5 月 28 日
B : カラアカハラの巣 2023 年 5 月 28 日
C : 巣に取り付くカラアカハラのメス 2023 年 5 月 28 日
D : 抱卵するカラアカハラのメス 2023 年 5 月 28 日